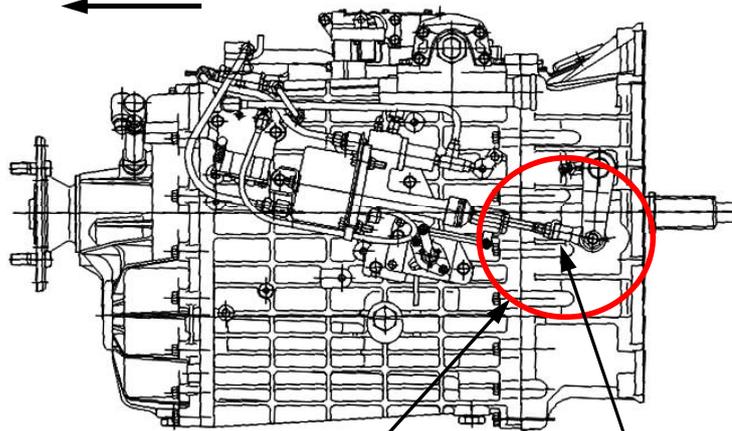


改善箇所説明図



車両前方



基準不適合発生箇所

ボールジョイント

大型路線バスにおいて、クラッチブースタのボールジョイントの耐久性が不足しているため、クラッチ操作の繰り返しによりボールジョイントケース部に摩耗が発生するものがある。そのままの状態で使用を続けると、ケースの肉厚が減少して強度が低下することにより当該ボールジョイントが破損し、最悪の場合、クラッチ操作不能となるおそれがある。

改善の内容

全車両、クラッチブースタのボールジョイントを確認し、不具合品が使用されている車両については対策品と交換する。

注： 内は、交換部品を示す。

識別：ボールジョイントに、黄色ペイントを塗布する。